

平成26年度 看護教員養成支援事業(通信制教育)

実施団体公募要領

平成26年3月

厚生労働省

平成26年度 看護教員養成支援事業(通信制教育)実施団体公募要領

1 総則

保健師助産師看護師法に規定する看護師等養成所においては、一定の要件を満たした者（専任教員養成講習会の受講者）が専任看護教員として配置され、看護学生に対しての教育（看護基礎教育）が行われています。

厚生労働省では、看護基礎教育の充実への取組として、専任教員養成講習会の受講促進策が必要と指摘されていることから、都道府県が専任教員養成講習会及び実習指導者講習会の課程の一部について通信制で実施するにあたり、当該事業を実施する団体（実施団体）を選定するために、以下の要領で実施団体の公募を行います。

なお、この公募は事業実施期間を十分確保するため、平成26年度予算案に基づき、予算成立前に公募を行っています。採択・執行に当たっては、国会での平成26年度予算成立が前提となりますので、今後、事業内容や実施時期等に変更があり得ることをご承知おき下さい。

2 事業の目的

eラーニングを運用することにより、専任教員となるための要件を満たしていない未受講教員の解消を図るとともに、専任教員養成講習会及び実習指導者講習会の質の確保を目的とする。

3 事業内容

専任教員養成講習会実施要領（「看護教員に関する講習会の実施要領について」平成22年4月5日医政発0405第3号医政局長通知）によって実施される専任教員養成講習会及び都道府県保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱（平成26年2月28日医政発0228第9号医政局長通知）によって実施される実習指導者講習会の一部の教育内容の通信制教育（eラーニング）を行うこと。

(1) eラーニングコース（別添1）の運用

① 運用環境等

複数の受講者が同日・同時間に受講することが可能な体制を整えること。

② 決済の包括対応

受託者は受講料によってeラーニングコースの運用を行うこと。

なお、受託者は厚生労働省が事前に規定した受講料にかかる決済業務の一切を行う。

③ 受講状況等に関する報告書の提出

受託者は、受講期間終了後、受講者の受講状況等の集計及び分析をし、それらの結果を取りまとめた実施状況報告書を作成の上、平成 27 年 3 月末日までに厚生労働省及び e ラーニングを活用した専任教員養成講習会及び実習指導者講習会を実施する都道府県（以下、主催都道府県）に提出すること。

(2) ヘルプデスクの運営

① ヘルプデスクの運営方法

e ラーニングコースの受講に関する問い合わせの一次対応を行うこと。

② 受講状況等に関する報告書の提出

受託者は、受講期間終了後、問い合わせ内容の集計及び分析をし、それらの結果を取りまとめた実施状況報告書を作成の上、平成 27 年 3 月末日までに厚生労働省及び主催都道府県に提出すること。

(3) 管理機能の提供

管理機能として、少なくとも受講者の受講進捗状況、質問内容、受講成績等当該属性ごとに検索、集計及びダウンロードできるようにすること。ダウンロードデータはエクセル形式で作成できるものとし、厚生労働省が容易に加工できるように工夫すること。

コースレビューの結果については都道府県及び科目ごとに集計し、グラフ等に加工し厚生労働省及び都道府県に提示すること。

科目の講師に対しても、担当科目のコースレビュー、問い合わせの集計結果を科目修了後に情報提供すること。

(4) チューター等機能の提供

① チューターの業務内容

ヘルプデスクが 1 次受けした e ラーニングコースの内容に関する問い合わせのうち、専門的な質問への対応及びヘルプデスクで解決できない質問への対応、科目履修認定テスト不合格者へのレポート課題の提示及び添削。メッセージ機能による受講者への励ましメールの作成。

② チューターの資格要件について

専任教員養成講習会の教育内容に熟知した者とする。（厚生労働省が認定した看護教員養成講習会修了者であることが望ましい。）

4 応募団体に関する諸条件

実施団体への応募者(以下「応募団体」という。)は、次の条件を全て満たす団体で

あることとします。

- (1) 本事業を的確に遂行するに足る組織、人員等を有していること。
- (2) 本事業を円滑に遂行する上で必要な経営基盤、資金等に関する管理能力、及び適正に精算を行う経理体制を有すること。
- (3) eラーニングについて、十分な知見及び実績を有し、厚生労働省と密接かつ協調的に連絡体制を構築しつつ、本事業を円滑に実施できる者であること。
- (4) 日本に拠点を有していること。
- (5) 厚生労働省から補助金交付等停止、又は指名競争入札における指名停止を受けている期間中でないこと。
- (6) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

5 事業期間

事業期間は、平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

6 事業団体の評価

(1) 評価の方法

事業実施団体の採択については、医政局看護課において応募団体に関する諸条件に該当する旨を確認した後、企画書等を評価します。

評価に当たっては、平成26年度看護教員養成支援事業（通信制教育）実施団体評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置します。

評価委員会は、申請者から提出された企画書等の内容について書類評価及び必要に応じてヒアリングを行い、それらの評価結果を基に最も優秀と認められる応募団体を実施団体として選定します。

評価は非公開で行い、その経緯は通知しません。また、問い合わせにも応じられません。

なお、提出された企画書等の資料は、返却しませんので御了承ください。

(2) 評価の手順

評価は、以下の手順により実施されます。

① 形式評価

提出された企画書について、医政局看護課において、応募条件への適合性について評価します。

なお、応募の条件を満たしていないものについては、以降の評価の対象から除外されます。

② 書類評価

評価委員会により、書類評価を実施します。

③ ヒアリング

必要に応じて評価委員会より、申請者（代理も可能としています。）に対してヒアリングを実施します。

なお、ヒアリングの実施に当たって、応募が多数の場合は、書類評価等の状況を踏まえ、一部の応募団体のみ実施する場合があります。また、ヒアリングに出席しなかった場合は、辞退したものと見なします。

④ 最終評価

書類評価及びヒアリングにおける評価を踏まえ、評価委員会において最終評価を実施し、実施団体を選定します。

（3）評価の観点

評価の観点は、以下のとおりです。

- ① 業務を的確に遂行するための実施体制であるか。
- ② 事業内容が事業目的と合致しているか。
- ③ 効果的であり、実現可能な事業内容となっているか。
- ④ 事業として、配慮や工夫された内容となっているか。
- ⑤ 事業目的、内容に対し、事業計画は現実的かつ妥当なものになっているか。

（4）評価結果の通知等

評価の結果については、評価委員会における最終評価後、速やかに応募団体に対して通知する予定です。

なお、委託費については、実施団体選定の通知後に必要な手続きを経て、正式に交付されることとなります。

7 本事業に係る委託費の交付について

本事業に係る委託費の交付については、他の国庫補助金と同様の取扱いとしており、予算の範囲内において、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号。）及び厚生労働省所管補助金等交付規則（平成12年厚生省・労働省令第6号）の規定によるほか、別に定める「看護教員養成支援事業（通信制教育）委託費交付要綱」の定めるところにより交付するものです。

本事業に係る委託費の交付については9,014千円を基準額（上限額）とし、対象とする経費は、3.（4）の業務に関する諸謝金、給与費、賃金、需用費（印刷製本費、消耗品費）に限ります。また、基準額を超えた金額については、実施団体の負担とな

ります。

最終的な経費については、今後発出予定の上記「平成 26 年看護教員養成支援事業（通信制教育）委託費交付要綱」に定めるところによります。

8 応募方法等

（１）企画書の作成及び提出

「看護教員養成支援事業（通信制教育）企画書」を作成し、必要部数を以下の提出期間内に提出してください。

企画書には公募要領に示されている評価の観点を盛り込んだ上、別に定める様式により企画書を作成してください。

（２）応募方法

提出期間及び提出先（問い合わせ先）は以下のとおりです。

① 提出期間

平成 26 年 3 月 7 日（金）から平成 26 年 3 月 17 日（月）
（必着：余裕を持って送付すること。）

② 提出先・問い合わせ先

提出先：〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
厚生労働省医政局看護課事業調整係 あて

※ 郵送の場合、封筒の宛名面には、「看護教員養成支援事業（通信制教育）」と朱書きにより、明記してください。

問い合わせ先：厚生労働省医政局看護課事業調整係 嶋原、飯田
tel：03-5253-1111（内線 4173）
fax：03-3591-9073

※ ただし、問い合わせについては、月曜日～金曜日（祝祭日を除く。）の午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（正午～午後 1 時を除く。）とします。

③ 提出書類及び部数

- ア 「看護教員養成支援事業（通信制教育）企画書」 10 部
- イ 団体の概要が分かる資料 10 部
 - ・パンフレット等
 - ・定款又は寄付行為
 - ・団体の直近より過去 3 年分の財務諸表（写）
- ウ その他必要な資料 10 部

※ 応募書類の提出は、原則として「郵便又は宅配便」とし、やむを得ない場合には、「持参」も可能としますが、「FAX」による提出は受け付けません。

※ 応募書類を郵送する場合は、簡易書留等を利用し、配達されたことが証明でき

る方法によってください。また、提出期間内に必着とし、遅れた場合は審査の対象外とします。

※ 書類に不備等がある場合は、評価の対象外となりますので、公募要領を熟読してください。

※ 応募書類の差し替えはできません。

(3) 公募説明会

本公募に関する説明会を以下の日時に実施します。参加をご希望の方は、3月12日（水）17:00までにファックス（様式任意）にて申し込みください。

説明会日時：3月13日（木）18:00～ 厚生労働省 医政局会議室2

(別添1)

e ラーニングコースについて

eラーニングコースについて

1 動作環境等

eラーニングコースは以下の環境で正常に動作する。

- ・インターネットエクスプローラ (6.0 以上)
- ・WINDOWS XP (SP3)、VISTA (SP1以上)、7
- ・Adobe Flash Player 8.0 以上 (プラグインして使用)
- ・ブロードバンド環境推奨
- ・SSL暗号化通信対応環境

2 コースの構成・機能

コースは授業科目毎に構成され、各コンテンツは教材コンテンツ及びテストで構成される。

- (1) 教材コンテンツ一覧は下記の通りであり、付加機能を含め容量は約 200 GBである。

コンテンツ一覧

区分	教育内容	授業内容	単位数	コンテンツ数	実収録時間 (分)	総容量 (GB)
基礎分野	教育の基盤	教育原理	1	30	900	13.8
		教育方法	1	15	450	6.9
		教育心理学	1	30	900	13.8
		教育評価	1	15	450	6.9
専門分野	看護論	看護論	1	30	900	13.8
	看護教育学	看護教育論	1	15	450	6.9
		看護教育制度	1	15	450	6.9
	看護教育課程	看護教育課程論	2	45	1350	20.7
	看護教育方法	看護教育方法論	3	90	2700	41.4
	看護教育演習	専門領域別看護論	1	15	900	13.8
	看護教育評価	看護教育評価論	1	30	900	13.8
	研究	研究方法	1	30	900	13.8
看護学校経営	看護学校管理	1	15	450	6.9	
			16	375	11700	179.4

(2) テスト

テストは原則として1コンテンツの視聴を終了するごとに、当該コンテンツの内容を理解したことを確認するための「確認テスト」及び1授業科目の全コンテンツを視聴終了するごとに実施する「科目履修認定テスト」で構成される。

「科目履修認定テスト」の修了をもって当該単位の認定を行い、認定は一定の時間内に60%以上の正答率を必要とする。

3 その他の機能

2にあげたもののほかシステムが有する機能は以下のとおり。

(1) コンテンツ

- ①動画再生（早送り、巻き戻し、画質切替が可能）機能
- ②資料ダウンロード機能

(2) テスト

- ①出題割合指定でのランダム出題設定機能
- ②プール出題設定機能
- ③回答回数無制限/制限機能
- ④修了条件指定機能
- ⑤回答時間制限機能
- ⑥回答必須設定機能
- ⑦即時採点、フィードバック（解説表示）機能

(3) エクササイズ

- ①回答必須仕様
- ②即時フィードバック（解説表示）機能

(4) 掲示板機能

LMSを用いた下記の機能を有する。

- ①受講生との専用掲示板
 - ・質問回答機能
 - ・添削機能
 - ・受講者からの質問、課題アップロード通知機能
- ②掲示板（SNS）
 - ・オープン掲示板機能（当該授業科目受講者が、誰でもアクセスが可能な掲示

板)

- ・コミュニティ掲示板機能（管理者が招待したい受講者をピックアップし、そのコミュニティ内で使用可能な掲示板）
- ・書き込み削除機能

(5) その他

- ①自動ID発行機能
- ②自動コース申込機能
- ③コース承認機能
- ④決済機能

(6) SCORM 対応について

現状、SCORM には対応していないが、SCORM のバージョンを確認の上、対応することは可能。（一般的には SCORM Ver. 1.2 または SCORM Ver. 2004）

(7) コンテンツの移行について

委託期間終了後、適次年度の運用に支障がないように次年度実施事業者へコンテンツを移行すること。

(参考)

看護教員養成支援事業(通信制教育)学習サポートシステム概要書

目次

① システム概要 ----- P1

1) システム稼動サーバー概要

2) 構築プログラム概要

3) データベース概要

② コンテンツの機能概要

1) eラーニングコンテンツの画面上部のボタン仕様 ----- P2 ~ P5

2) eラーニングコンテンツの仕様イメージ----- P6 ~ P9

① システム概要

看護教員養成支援事業(通信制教育)において制作されたコンテンツを配信するに要するサーバーシステムの概要を記する。

1) システム稼動サーバー概要

・サーバースペック

DB Server

OS : Windows Server 2003R2 以上

Network : 専用 100Mbps

Web Server

OS : Windows Server 2003R2 以上

Network : 専用 100Mbps

Streaming Server

OS : Windows Server 2008R2 以上

Network : 専用 1Gbps

2) 構築プログラム概要

WebServer : Internet Information Server 6.0(Windows)

Interface : aspx(utf-8) + CSS + JavaScript (Ajax=非同期通信用) + Adobe Flash

3) データベース概要

DBServer : MS-SQL2005

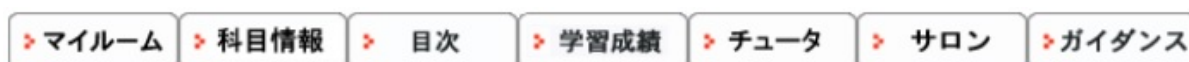
文字コード : utf8

② コンテンツの機能概要

看護教員養成支援事業(通信制教育)におけるeラーニングコンテンツの仕様を下記に記する。

1) コンテンツの画面構成

●eラーニングコンテンツ画面上部のボタンの仕様



【メニューボタンの機能】

名 称	機 能
マイルーム	学習ポータル画面に遷移するボタンです。
コース情報	科目の概要や標準学習時間、著作権や参考文献（URL）など、科目に関する情報をまとめたページへ遷移するボタンです。※「コース」とは「科目」のことを意味します。
目次	科目の目次ページへ遷移するボタンです。こちらから学習したいコンテンツを選ぶことができます。
学習成績	確認テスト・科目認定テストの点数とその解答日が表示されるページへ遷移するボタンです。
チュータ	チュータとの質問回答ページへ変遷するボタンです。
サロン	同じ科目の受講者及びチュータ共通の「掲示板」へ遷移するボタンです。
ガイダンス	受講に関する操作やコンテンツの構成、手続きなどを説明するページへ遷移するボタンです。

●コース情報



コース情報にて e ラーニングコースに関する基本的な情報を記載。

●目次



目次ボタンをクリック後、ポップアップで目次が表示。



各コース(科目)の学習したいコンテンツを選択して学習することも可能。

●学習成績(確認テスト・科目別認定テストの学習結果) ※イメージは仮。LMS ごとに異なる。



学習成績ボタンをクリック後、各コンテンツ毎に設置されている確認テストと科目別認定テストの解答日・正解数が一覧で確認が出来る。

各テストをクリックすると解答ページへ遷移。

●チュータ ※イメージは仮。LMS ごとに異なるため下図はあくまでも参考。



チュータボタンをクリックし、掲示板へリンクする。



学習設計のニーズに合わせた提供が可能なこと。

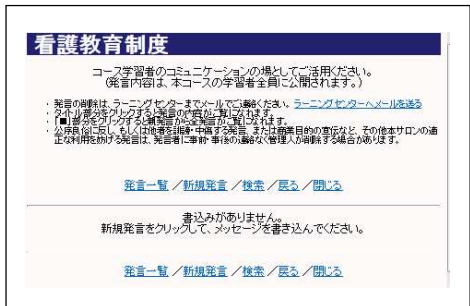
(例)

・チュータ(学習指導員)と受講生の1対1の掲示板

●サロン(掲示板機能) ※イメージは仮。LMS ごとに異なるため下図はあくまでも参考。



サロンボタンをクリックし、掲示板へリンクする。



学習設計のニーズに合わせた提供が可能なこと。

(例)

・学習指導員と受講生の1対1の掲示板

・科目ごとの掲示板

・その他ニーズ毎にグルーピング可能な掲示板

●ガイダンス

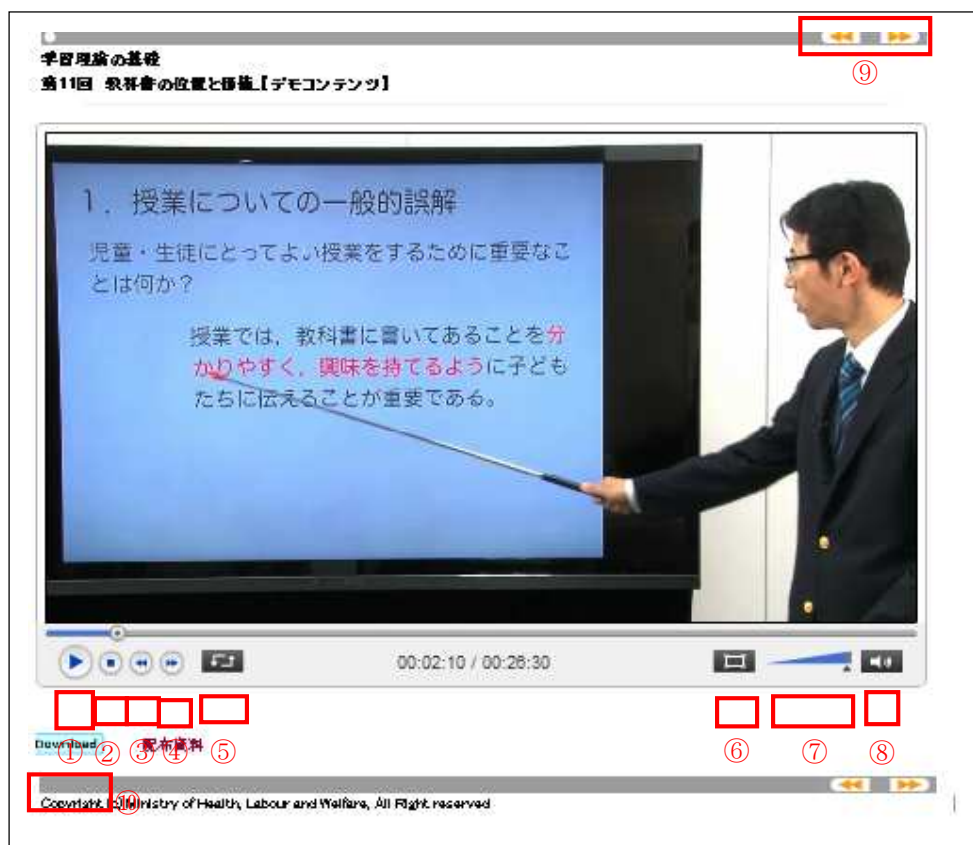


ガイダンスボタンをクリックするとeラーニングコンテンツの利用方法を説明するページがポップアップで表示される。



記載内容は運用するLMSごとに仕様が異なるため、改編する必要がある。

●コンテンツイメージ



●映像形式

フォーマット種類：




FLV

サイズ 960 x 540

(16 : 9)

高画質 1Mbits/Sec

低画質 0.5Mbits/Sec

	名称	機能
①	再生ボタン	・再生ボタンをクリックすると、講義映像が再生される。 ・再生ボタンをクリックすると、ボタンが一時停止ボタン  に切り替わる。
②	停止ボタン	・停止ボタンをクリックすると、講義映像を最初に戻すことができる。
③	巻き戻しボタン	・巻き戻しボタンをクリックすると、講義映像を10秒後ろに戻すことができる。
④	早送りボタン	・早送りボタンをクリックすると、講義映像を10秒先に進めることができる。
⑤	全画面表示ボタン	・全画面表示ボタンをクリックすると、講義映像をフルスクリーン表示することができる。
⑥	画質切り替え	・ボタンをクリックすると、低画質・高画質を切り替えることができます。
⑦	音量調整	・講義映像の音量を調整するつまみボタンです。
⑧	ミュート	・ボタンをクリックすると、音声なし  ・あり  を切り替えることができます。
⑨	ページ遷移ボタン	・ボタンを押すと前後のページへ遷移します。
⑩	ダウンロードボタン	・講義資料等のダウンロードを行うことができます。

●確認テスト

※設問イメージ

主要な概念
— 第1回 確認テスト —

Q1 次の文章が、正しいらば○、正しくなければ×を選びなさい。
「制度」とは人々の「ターン」化された行動様式である。
○ ×

Q2 「制度」ではないのはどれか。次の中からひとつ選びなさい。
○ A 試験を受けるとき、生徒は、机の上に学主題を置かなければならない。
○ B 「看護学序論」「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修していないと、「基礎看護学実習」を履修できない。
○ C 大生は成績科目が難しいが、大生は甘い。
○ D 2月18日は本校の創立記念日で、授業は行われない。
○ E 生徒が図書館の図書を貸し出しできるのは、1日に5冊まで1週間以内である。

Q3 看護教員職歴上、看護教員には看護教員に属する権限や権力がある。それに該当するものを、次の中からすべて選びなさい。
○ A 担当科目の成績評価を、「試験、小レポート、出席状況の合計」と決める。
○ B 随時実習で生徒の受けもも指導者を決める。
○ C 生徒全員の実習記録を分析したところ、よい知見を得たので、学業で発表することにする。
○ D 看護技術実習の授業で使うため、看護技術をわかりやすく解説しているDVDを選ぶ。
○ E 生徒が毎年恒例の新人主幹退会にカンパしてほしいと書ってきたので、写じる。

Q4 次の文章が、正しいらば○、正しくなければ×を選びなさい。
「制度」が定まっていることで、人が社会生活のある生活を書き換えることができる。
○ ×

Copyright (c) Ministry of Health, Labour and Welfare. All Right reserved

- ・ランダム出題
- ・択一選択、複数選択の回答形式
- ・解答完了ボタンをクリックすることで、自動採点すると同時に点数結果がデータベースに書き込まれる。
- ・繰り返しテストが可能

※解答結果・解説表示

主要な概念
— 第1回 確認テスト —

再度受験したい方は、**再テスト** ボタンをクリックして、再度テストを受けてください。→ **再テスト**

次へ進みたい方は画面右上の **▶▶▶** をクリックして、先へ進んでください。

問題	正誤
Q1	×
Q2	×
Q3	×
Q4	×
正解率	0% (0/4)

Q1 次の文章が、正しいらば○、正しくなければ×を選びなさい。
「制度」とは人々の「ターン」化された行動様式である。
不正解 ×

正解は○。
「制度」についての定義が、社会的に、あるいは経済学的に、など、いくつかなされている。その中で、比較的広く定着しているのは、この定義である。この他に、人々が現実に対してどのような意味づけをしているかを「制度」という、とする定義づけもある。

- ・再テストボタンを上部に設置
- ・設問番号は各解答結果へリンク
- ・正解結果を表示。正解率も合わせて表示される。
- ・解答結果と解説が同時に表示される。

●科目別認定テスト

※設問ページ

残り時間: あと13分55秒

C. 都道府県ナースセンターの業務の中口は、このことへの支援が含まれている。

D. 看護職者に対する生涯教育やリカレント教育を制度化することは、看護職者がこの倫理を実践しやすくするという意義がある。

Q14 次の文章が、正しいれば○、正しくなければ×を選びなさい。
卒業を直前に迎えた3年生から、採血、点滴管理、吸引といった看護技術に自信を持ちたいので演習をしてみたいとの要望を受けた。しかしカリキュラム上そういう授業がないため、カリキュラムのない教育をするわけにはいかないので自己学習をするようにと返答した。

○ ×

Q15 看護教員が教育に従事していく態度として、妥当なのはどれか。次の中からすべて選びなさい。

A. 教育倫理の知識を得て、日ごろ起こるできごとをその観点で捉えたり判断したり、またそれを同様と共有したりする。

B. 最近の青年心理の特徴などについて学び、生徒、学生を理解しようとする。

C. 学校経営の知識を得て、組織の運営や経営に積極的に参画する。

D. 授業や実習指導など教育活動を中心としつつ、オープンスクールや入試など組織のための仕事にも前向きに取り組む。

E. 入試と看護者に何を求めているか、看護者は社会から信頼を得ているかをいつも探究し、それで見えてきたことを含めて看護教育を行う。

解答完了

- ・上部にカウントダウンタイマー設置、設定時間を超えると自動終了及び解答結果が自動で送信される。
- ・システムによるランダム出題
- ・択一選択、複数選択出題
- ・解答完了をクリックすると
- ・正解率 60%で修了
- 満たない場合は再受験が1回のみ可能。

※解答結果・解説表示

科目別認定テスト

9問以上正解しないと次へ進めません。再テスト ボタンをクリックして、再度テストを受けてください。→ 再テスト
2回目でも合格点に満たなかった場合は、科目履修となりません。

9問以上正解の方は画面右上の をクリックして、先へ進んでください。

問題	正誤	問題	正誤
Q1	×	Q9	×
Q2	×	Q10	×
Q3	×	Q11	×
Q4	×	Q12	×
Q5	×	Q13	×
Q6	×	Q14	×
Q7	×	Q15	×
Q8	×	正解率	0% (0/15)

Q1 看護教育制度上、看護教員には看護教育に関する権限や権力がある。それに該当するものを、次の中からすべて選びなさい。

正解 A. 担当科目の成績評価を、「試験、小レポート、出席状況の合計」と決める。

B. 臨地実習で生徒のうけもち患者を決める。

C. 生徒全員の実習記録を分析したところ、よい意見を得たので、学会で発表することにする。

未選択 D. 看護技術演習の授業で使うため、看護技術をわかりやすく解説しているDVDを選ぶ。

E. 生徒が毎年恒例の新入生歓迎会にカンパしてしまいと言ってきたので、応じる。

- ・再テストボタンを上部に設置
- ただし、再受験は1回までに制限
- ・設問番号は各解答結果へリンク
- ・正解結果を表示。正解率も合わせて表示される。
- ・解答結果と解説が同時に表示される。

●コースレビュー(アンケート)

eラーニングの学習お疲れ様でした。
本科目は、アンケート(コースレビュー)の回答をもって修了となります。
回答内容は、コンテンツやeラーニングシステムの改善に役立てさせていただきます。
ご回答を希望しない項目については、未回答としていただくことも可能です。
ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

Q1	あなたは看護職に就いて何年ですか？
<input type="radio"/>	A. 5年～10年
<input type="radio"/>	B. 10年～15年
<input type="radio"/>	C. 15年～20年
<input type="radio"/>	D. 20年目以上
Q2	今回の学習は主にどのようなスタイルで利用されましたか？
<input type="radio"/>	A. 勤務先で就業時間中に利用した
<input type="radio"/>	B. 勤務先で就業時間外に利用した
<input type="radio"/>	C. 自宅で利用した
<input type="radio"/>	D. いずれでもない

・択一回答、複数回答、自由記述でのコースレビュー(アンケート)を入力し、修了基準に反映されます。